

26 伊豆美神社を尋ねて

歴史的資産



受賞者：小町 守 さん
 推薦者：小町 常治 さん

【推薦コメント】

- ・府中の大国魂神社の分社 9月20日が祭日
- ・府中の大国魂神社と同じ北向きの参道
- ・伊豆美神社は天文19年多摩川の洪水により社地が流失する。西河原公園続きの大塚山に、社地の一部が残り、水神様が祭られる。又、同じ頃、神社の左側奥に御霊神社を祭り、洪水後一時社殿が祭られたところ。
- ・神社には、ご当地の領主井伊直弼公の敬慕の石碑が建てられている。（正面奥左側）。ご当地の農民は井伊直弼公に、大変暖かい上納金での恩恵を受けた。半縄の殿様とも言われた。
- ・江戸時代石谷貞清武将は、九州「島原の乱」に出兵、戦勝祈願の鳥居が奉納されている。
- ・明治初期の神佛分離令以前は伊豆美神社の隣に「行宝院」というお寺があった。

【講評】

伊豆美神社は平安時代に創建されましたが、天文19年（1550年）の洪水で被害を受けたため現在地に移転したと伝えられています。鳥居は狛江市内に残る最後の石造りで、市の指定文化財になっています。境内にはケヤキ、イチョウ、アラカシ、クスノキ、シラカシ等の大木が多く残っています。狛江市の魅力的な歴史的文化的文化遺産として高く評価するものです。